

参加者募集中

# 育児中の脳の働きを調べる研究

福井大学・子どものこころの発達研究センターでは、**子育て中の『お母さん』が意図せずに発揮している『脳の働きの不思議』**を調べる研究の参加者を募集しています。

## MRI撮像

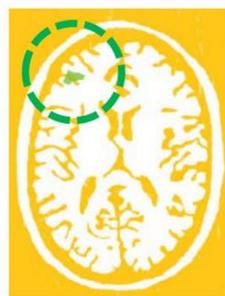


## 課題に取り組む

(例) 表情を判断する



## 脳の働きを知る



- 実験実施：**産後約1か月（3週-5週）後のタイミングで調査を行います**
- 対象年齢：20～40歳
- 条件：福井大学医学部附属病院まで来ることが可能な方

(**お子様同伴可**。調査の間は、保育士がお子様と別室で待機します。)

- 検査内容：MRI撮像，唾液採取，アンケートなど
- 検査日：土曜日・日曜日のうちいずれか（検査全体で約2時間）
- 謝礼：**検査1回につき20,000円**（交通費含）

ご希望の方は、産前や調査のタイミングで子育てに関するご相談を承ります。

ご興味のある方，調査に関してご質問などある方は，下記まで何なりとご連絡ください（件名「**子育て研究に関して**」，本文には**氏名（お母さんのお名前）**を明記してください）。順次折り返しのご連絡を差し上げます。

- 連絡先（担当者：平岡大樹）：[dhiraoka@u-fukui.ac.jp](mailto:dhiraoka@u-fukui.ac.jp)  
(※直接入力いただくか、右のQRコードを読み取ってください)



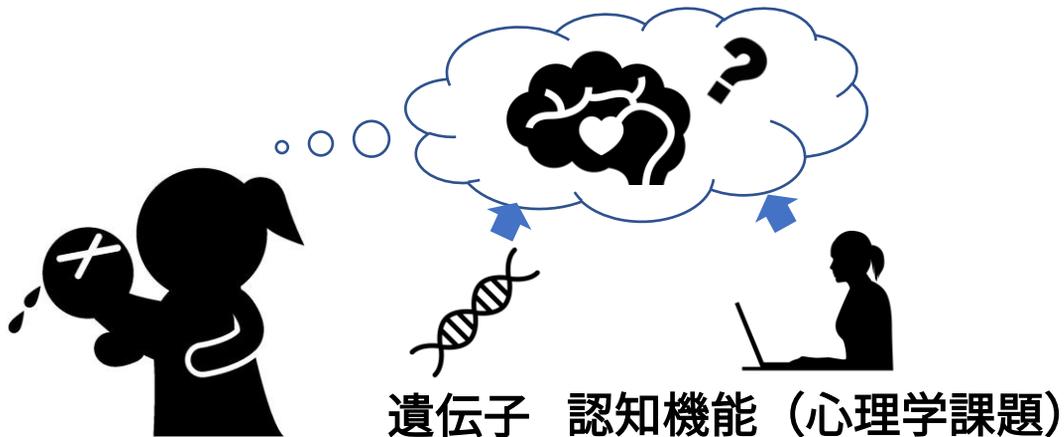
実施機関：福井大学子どものこころの発達研究センター  
〒910-1193 福井県永平寺町松岡下合月23-3

# 研究の目的

私たちは「赤ちゃんの泣き声」を聞いた時のお母さんの脳の働きに関心を持っています。赤ちゃんの泣き声を聞いた時、それをかわいいと感じる時があれば、うるさいと感じることもあります。

私たちの目的は「それぞれの場合で、お母さんの脳はどのように活動しているのか?」「その違いの原因として、お母さん自身の遺伝子や認知機能が関わっているのではないか?」を検討することです。

この研究によって、育児のストレスの背後にある脳機能が明らかになり、その防止や介入に向けた取り組みにつながることを期待されます。



## MRI 検査の注意・確認事項

MRI 検査は、磁力と電波を利用して体を傷つけることなく脳の画像を撮影でき、広く世界中の医療・研究機関で使用され、安全基準が確立されていますので、ご安心ください。

▼ 下記に該当する方は MRI 検査を受けることができません。



- ・磁力装着義眼
- ・金属加工等の仕事に勤務した経験や事故などで体内(特に眼)に金属片/粉が入っている人



- ・義肢
- ・骨折治療用金属ボルト
- ・鍼灸用ハリ(留置)
- ・チタン以外の人工骨・関節
- ・ハローベスト



- ・インプラント
- ・差し歯
- ・本格矯正装置(マルチブラケットシステム)
- ・歯科用磁性インプラント



- ・心臓ペースメーカー及びリード
- ・冠動脈等用ステント
- ・除細動器
- ・刺激電極
- ・シャント



- ・人工内耳
- ・補聴器
- ・脳動脈瘤手術用クリップ



- ・刺青
- ・タトゥー



- ・美容整形術で植え込まれた金糸等



- ・妊娠中もしくは妊娠の可能性のある方
- ・避妊リングを入れている方



- ・閉所恐怖症のある方